

公立長生病院アクションプラン

令和4年度の業務実績に関する評価結果

令和5年10月

公立長生病院アクションプラン評価委員会

目次

はじめに

1. 全体評価

- (1) 令和4年度の業務実績に対する評価委員からの意見、指摘等
- (2) 令和4年度の業務実績に関する評価結果

2. 個別評価（大分類ごと）

- (1) ❶ 「経営の健全化」について
 - 【大分類ごとの個別評価】
 - 【評価委員からの意見、指摘等】

- (2) ❷ 「救急受入れ件数の向上」について
 - 【大分類ごとの個別評価】
 - 【評価委員からの意見、指摘等】

- (3) ❸ 「災害医療」について
 - 【大分類ごとの個別評価】
 - 【評価委員からの意見、指摘等】

- (4) ❹ 「患者サービスの向上」について
 - 【大分類ごとの個別評価】
 - 【評価委員からの意見、指摘等】

- (5) ❺ 「職員の資質向上」について
 - 【大分類ごとの個別評価】
 - 【評価委員からの意見、指摘等】

【添付資料】

○公立長生病院アクションプラン（令和2年度～令和6年度）【令和5年7月一部修正】

はじめに

公立長生病院は、昭和26年4月に1町4村の組合立国保病院として開設され、昭和63年4月、長生郡市広域市町村圏組合に移管され、地域の中核病院として救急医療体制や地域包括ケアシステムの一翼を担ってきました。

平成23年4月に経営形態を地方公営企業法一部適用から全部適用に変更し、看護基準の見直しや地方債の繰上げ償還によって一旦黒字化となりましたが、医師不足や新興感染症対応等の影響により医業収益の悪化が懸念されています。

令和2年10月に「公立長生病院中長期ビジョン」を策定し、その実現のために具体的な「公立長生病院アクションプラン」を定め評価期間を令和2年度～令和6年度（5ヵ年間）としています。

アクションプランで掲げている大分類は、以下のとおり。

- ①「経営の健全化」
- ②「救急受入れ件数の向上」
- ③「災害医療」
- ④「患者サービスの向上」
- ⑤「職員の資質向上」

1. 全体評価

(1) 令和4年度の業務実績に対する評価委員からの主な意見、指摘等

- ・臨時や非常勤の先生方に長生病院で働き続けたいと思ってもらえるような環境を作ることが大事だと思います。特に来年度以降働き方改革もあり、外房地域の医師不足が騒がれていますので、次年度に向けて医師確保に尽力されたい。
- ・特に評価したいのは外科の充実が図られているということです。これは一歩前進で非常に大きく評価したいと思います。
- ・地域包括ケア病床について、コロナ受入確保病床との兼合いで様々検討しているようだが、より効率的に運用が図られるようご努力いただきたい。
- ・日中の救急受入れについて、応需率向上が素晴らしいと感じました。受入れを断っている先生の原因を分析していくことが大切だと思われ、その対応をしっかりと行っていることが素晴らしいと感じました。
- ・コロナ感染症対応やまたワクチン接種等はとてもよい評価とされます。さらに感染制御看護師を専従で配置されていることで地域の感染対策に尽力されていると思われる。
- ・医師を確保するには条件整備や病院の環境整備をしなければいけない。また、B棟の建替えについては構成市町村の財政事情もある中で思うように進んでいないが、全体的にはほぼ順調に進んでいる。
- ・人事評価について、とても重要な項目であります令和4年度は「C」評価となっています。今

後の広域組合全体の評価制度や医師評価をしっかりと進めていただきたい。

- ・新型コロナウイルス感染症は5類へ移行したが、病院内に感染が広がれば入院・外来ともに制限がかかり、経営が一気に悪化することは推測できる。その中で地域の公立病院として、発熱外来や陽性患者受入等、感染症対策と通常診療を両立していくことは、災害対応体制を引続き維持していくことになる。さらに感染症に関連する診療報酬の引下げに伴う経営面への影響も懸念されるため、各医療機関との役割分担など、協議検討が必要と思われます。

(2) 令和4年度の業務実績に関する評価結果

以上、令和4年度業務実績の全体評価としては様々なコロナ対応を行いながらも「**年度計画をほぼ順調に実施している**」と評価する。ただし、新型コロナウイルス感染症が5類に移行された令和5年5月8日以降、医業収益増加を図り、健全な病院運営を行っていけるかが長生病院の真の評価につながると思われるため、今後も医師確保をはじめアクションプランを推進していただきたい。

なお、新型コロナウイルス感染症対応として、ワクチン接種（個別）において接種件数が千葉県下最多クラスの対応を行うなど、新興感染症対応を第一優先とし、地域唯一の公立病院として対応してきたことや、外科医師の充実が図られていること、さらには日中の救急受入れ改善が図られたことは大きく評価できる実績であり、特筆すべき事項と致します。

令和5年度はプランの4年目となり、コロナ終息後を見据えた計画を立て、後方支援病院や地区医師会さらには救急隊との情報共有及び連携強化を図っていただきたい。

2. 個別評価（大分類ごと）

(1) ① 「経営の健全化」について

【個別評価】

年度計画以上に実施している項目 (A 評価) (進捗状況：80%以上)

- ・①内科医師の確保／任期付医師採用制度の募集
- ・②外科医師の確保／関連医大等への訪問
- ・④病床利用率の向上／病床利用検討会の設置及び開催
- ・⑧診療報酬対策委員会の実施

年度計画がほぼ順調に実施している項目 (B 評価) (進捗状況：50%以上80%未満)

- ・③病床利用率の向上／医師別紹介状返信率表の貼り出し／地区医師会との連携協議
- ・⑤経費の削減／支出削減提案制度の実施及び周知／支出削減案の募集、選考及び実施
- ・⑥人間ドック枠の増加／人間ドックの食事改善
- ・⑦内科専門外来の設置／午後外来の検討及び試行
- ・⑨医師別増収計画の実行確認及び院長面談

年度計画を十分には実施できていない項目（C 評価）（進捗状況：50%未満）

・なし

①「経営の健全化」の個別評価（A評価：4 B評価：5 C評価：0）

【評価委員からの意見、指摘等】

- ・基本的には医師の確保がされていなければ、病院事業は成り立たないと思います。医師確保の整備等が思ったよりも進んでいないと感じられるため、更なる業務改善を検討されたい。
- ・特に評価したいのは外科の充実が図られていること。これは一歩前進で非常に大きく評価したいと思います。
- ・医師の確保は喫緊の課題で、それさえ満足にできれば長生病院はもっと良くなると思いますので、24時間365日頼りになる病院を目指していただきたい。
- ・食事利用券を使える協力店の増加など、ドック利用者の利便性を高めていただきたい。

(2) ②「救急受入れ件数の向上」について

【個別評価】

年度計画以上に実施している項目（A 評価）（進捗状況：80%以上）

・なし

年度計画がほぼ順調に実施している項目（B 評価）（進捗状況：50%以上80%未満）

- ・⑩急患対応リストの作成と応受可否の評価／急患対応困難理由の評価
- ・⑪救急受け入れ態勢の強化／救急担当医科内複数化の検証及び実施
- ・⑫救急隊との情報交換会の開催

年度計画を十分には実施できていない項目（C 評価）（進捗状況：50%未満）

・なし

②「救急受入れ件数の向上」の個別評価（A評価：0 B評価：3 C評価：0）

【評価委員からの意見、指摘等】

- ・夜間の対応について、最近では民間の派遣会社などがやっている、基本給を減らし（救急）台数を取ったらその分の積み上げとすると常勤医師も非常勤医師も含め、応需率の向上につながるのではないかと思います。
- ・国際医療福祉大学成田病院は、三次救急病院ではないが、重症患者の受入れや転送受入れの実績もあるため患者さんがよければ、転送受入れも行っていきたいと思います。

(3) ③「災害医療」について

【個別評価】

年度計画以上に実施している項目 (A 評価) (進捗状況：80%以上)

- ・ ⑬感染症対策／感染認定看護師の募集・養成制度の検討
- ・ ⑭大規模災害対策（地震・風水害）／広域医療救護所設置訓練の実施
／普通救命講習の実施
- ・ ⑮B棟改築の基本設計及び実施設計

年度計画がほぼ順調に実施している項目 (B 評価) (進捗状況：50%以上80%未満)

- ・ なし

年度計画を十分には実施できていない項目 (C 評価) (進捗状況：50%未満)

- ・ なし

③「災害医療」の個別評価 (A評価：3 B評価：0 C評価：0)

【評価委員からの意見、指摘等】

- ・ 感染制御看護師など資格取得に要する費用をできるだけ病院負担としてあげることや、取得後の対応（手当等含む）を行うことで、本人の励みにもなるため、前向きに検討していただきたい。
- ・ 救急・災害、特にコロナ対応などは、特に活躍されていると、感服する次第です。
- ・ B棟改築の「屋上ヘリポート」について、災害時も含めたヘリポートであれば必要だと認識致しました。
- ・ 市町村との協定に基づき広域医療救護所として役割を担うならば「1人でも多くの命を救う」ため、長生病院で応急処置を行った後の後方支援搬送のためヘリポート整備も必要と考えます。
- ・ 医師を確保するには条件整備や病院の環境整備をしなければいけないため、今後もB棟の建替えについて各構成市町村と十分に協議を行っていただきたい。
- ・ B棟の建設について、構成市町村の財政事情により事業年度の遅れが生じたようだが「適正な評価はできず」との考え方もあると思われます。
- ・ コロナ感染症対応やまたワクチン接種等、本当に感謝いたします。その中で感染制御の看護師さんも昨年10月から専従されており、地域の感染対策にご尽力されていると思われます。
- ・ コロナ関連の業務を長生病院の規模で請け負うことは本当に素晴らしいと感じている。さらに、災害訓練も実践的な訓練だったとのことで、災害時は普段からの連携が本当に大切であり、市町村との連携、訓練はととてもすばらしい。
- ・ 駐車場整備について、高齢者の多い長生地域を考慮し、利用者の利便性から平地駐車場整備が好ましいと思われ、進入路整備を含め検討いただきたい。

(4) ④「患者サービスの向上」について

【個別評価】

年度計画以上に実施している項目 (A 評価) (進捗状況：80%以上)

- ・⑯接客指導者の育成と職員研修／院内接客指導者の養成

年度計画がほぼ順調に実施している項目 (B 評価) (進捗状況：50%以上80%未満)

- ・⑰患者ニーズへの対応／顧客満足度向上 (委員会)
患者の声の箱 (院内8か所) の毎週回収と回答表示
- ・⑱マイナンバーカードでの健康保険証オンライン確認導入準備及び導入

年度計画を十分には実施できていない項目 (C 評価) (進捗状況：50%未満)

- ・なし

④「患者サービスの向上」の個別評価 (A評価：1 B評価：2 C評価：0)

【評価委員からの意見、指摘等】

- ・クレジット決済やマイナンバーカードを利用したオンライン資格確認サービスについて、しっかりと患者さんのサービス向上につながるよう環境整備いただき、職員の事務負担についても過大とならないよう留意されたい。
- ・オンライン資格確認利用率の向上やマイナンバーと保険証紐づけの周知及び広報活動を積極的に行っていただきたい。
- ・検査を希望し、長生病院へ紹介を行ったが、検査しないで帰って来てしまったケースが多く見受けられる。患者さんのニーズに応えることや患者さんの気持ちを汲んだ丁寧な対応も必要があると思われます。
- ・患者アンケート結果は項目によって、高・低の差が激しいようです。全体評価としては【62.5%】となっており、もう少し向上を図っていただきたい。

(5) ⑤「職員の資質向上」について

【個別評価】

年度計画以上に実施している項目 (A 評価) (進捗状況：80%以上)

- ・⑲ハラスメントガイドラインの策定及び周知／ハラスメント講習会の開催

年度計画がほぼ順調に実施している項目 (B 評価) (進捗状況：50%以上80%未満)

- ・⑳職員の経営意識の向上／医師別収益の見える化検討及び実施

年度計画を十分には実施できていない項目 (C 評価) (進捗状況：50%未満)

- ・㉑効果的な人事評価の実施

⑤「職員の資質向上」の個別評価（A評価：1 B評価：1 C評価：1）

【評価委員からの意見、指摘等】

- ・人事評価について、とても重要な項目であります令和4年度は「C」評価となっております。今後の広域組合全体の評価制度や医師評価をしっかりと進めていただきたい。
- ・普段の会話や挨拶など、何気ない日常会話が重要であり、ハラスメント防止に関する研修会やセミナーなどは継続的に実施していただきたい。